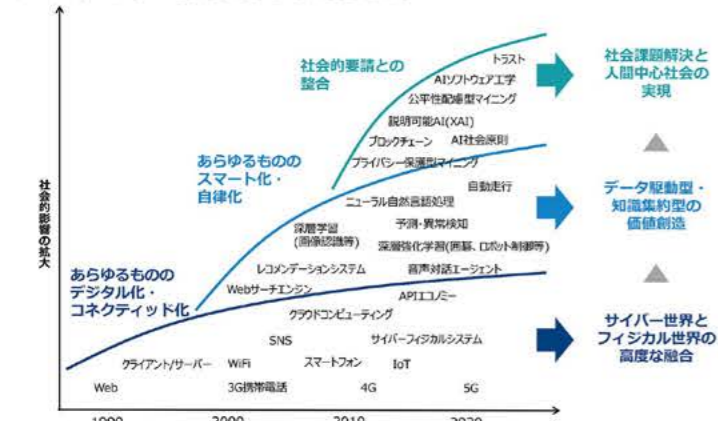


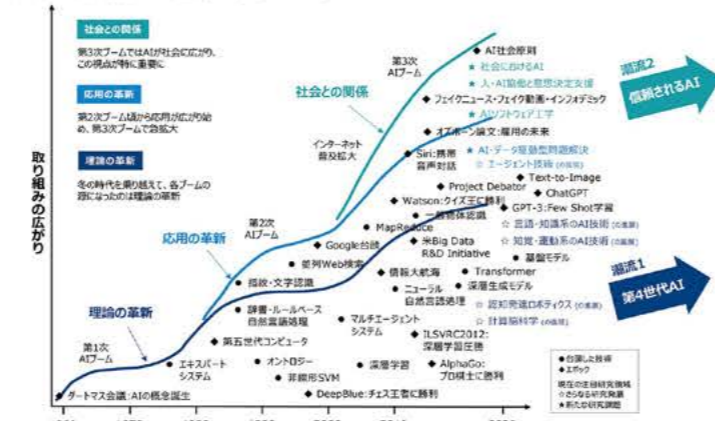
技術トレンド	社会・経済の動向	俯瞰	重点的に取り組むべき研究開発領域	推進シナリオ	ビジョン
社会的要請との整合 研究開発活動や科学技術そのものに対する社会的要請の高まり。データに関するプライバシーの考慮やAI技術へのトラスト担保など。 あらゆるもののスマート化・自律化 機器のスマート化が進み、大量のデータの収集と解析が可能になった。ビッグデータと機械学習を組み合わせたサービスが多数生み出された。 あらゆるもののデジタル化・コネクティッド化 無線化・大容量化・グローバル化。ウェブ、スマートフォン、IoT、クラウドなど、社会基盤のデジタル化とコネクティッド化。	世界 ロシアのウクライナ侵攻。新型感染症。経済のブロック化。格差、貧困、食料偏在化。温暖化、自然災害リスク。産業・労働構造の変化。 日本 DX推進。サプライチェーンリスクの顕在化。少子高齢化。経済低成長。	デジタル安全保障に対する総合知による取り組み スマート化・自律化の根本である知能の原理探究 サステナブル社会のためのICT基盤	① デジタル社会におけるトラスト形成 ② コグニティブセキュリティ ③ データ共有 ④ 知能モデルの解明・探求/身体性に宿る知能 ⑤ 人間中心インタラクション ⑥ バイオハイブリッドロボット ⑦ 最適化 ⑧ 社会課題解決に向けたメタバースデザイン ⑨ ネットワークのスマート化 ⑩ 社会デジタルツイン ⑪ 社会システムを支えるAIアーキテクチャー	技術 社会 基盤 社会 基盤 産業 基盤 技術 産業 技術 社会 技術 産業 技術 基盤 技術 産業 社会 基盤 技術 産業 技術 基盤	社会課題解決と人間中心社会の実現 経済発展と社会問題解決を両立し、誰もが快適で活気に満ちた質の高い生活を送れる社会の実現。ITは人間の判断や決定を補助する道具として働く。 データ駆動型・知識集約型の価値創造 知識・情報・データベース化と統合的活用を実現するプラットフォームやAIにより、データ駆動型・知識集約型の価値創造とDXが加速される。 サイバー世界とフィジカル世界の高度な融合 IoTやCPSが社会生活を支える基盤となる。オープンなサービスプラットフォームなどが実現し、多くの産業が効率化・省エネルギー化する。

技術：強い技術を核とした骨太化 産業：強い産業の発展・革新の推進 社会：社会課題の先行解決 基盤：社会基盤を支える根幹技術確保

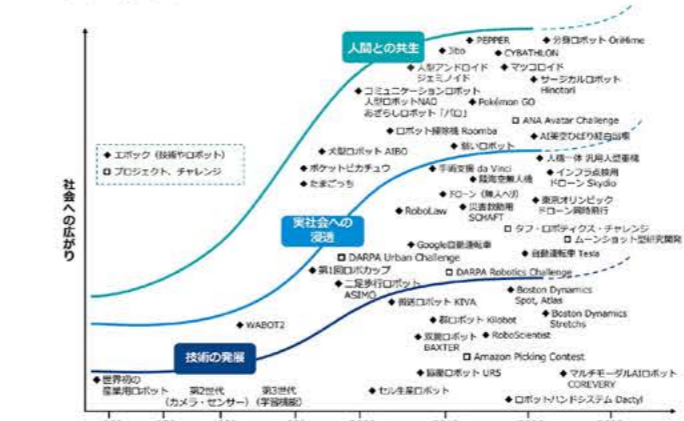
システム・情報科学技術分野



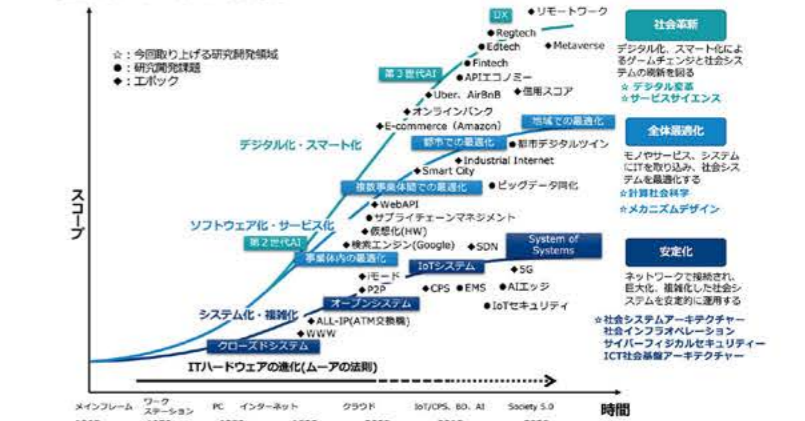
人工知能・ビッグデータ



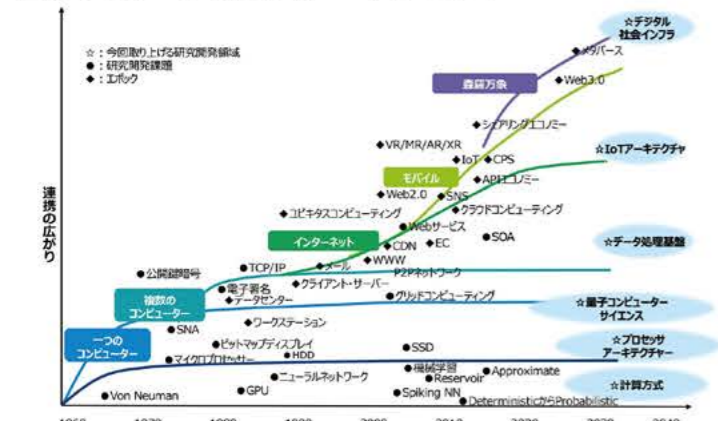
ロボティクス



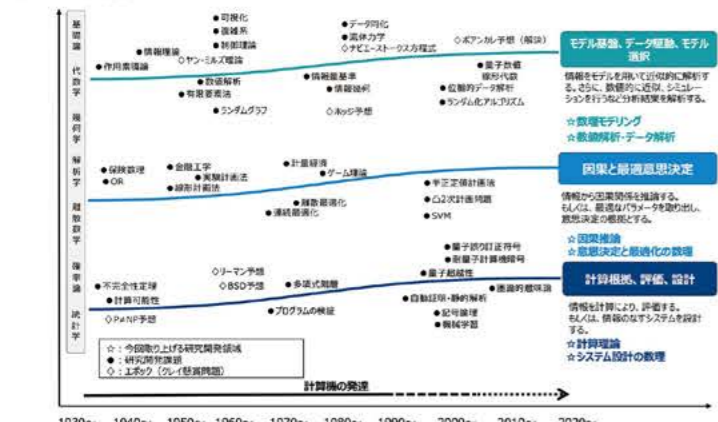
社会システム科学



コンピューティングアーキテクチャー



数理科学



あらゆるもののスマート化・自律化

社会的要請との整合

社会システム科学

人工知能・ビッグデータ

ロボティクス

コンピューティングアーキテクチャー

セキュリティ・トラスト

通信・ネットワーク

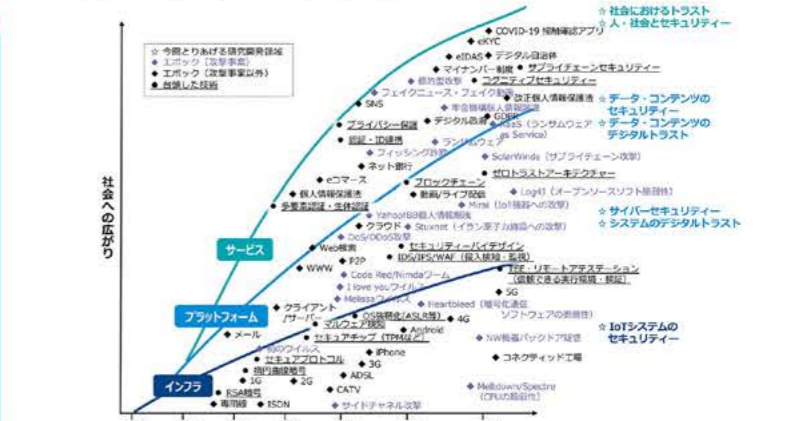
あらゆるもののデジタル化・コネクティッド化

数理科学

選定基準

- ・エマージング性
- ・社会の要請・ビジョン
- ・社会インパクト

セキュリティ・トラスト



通信・ネットワーク

